

育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No.201

2021. 8. 1

会長あいさつ

川崎市育成会手をむすぶ親の会
会長 美和 とよみ



残暑厳しき折、会員の皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。今年度も益々のご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

さて、5月31日（月）の「第9回総会」において三役一同が再任されました。力を合わせてより一層活動を進めていこうと、気持ちを引きしめているところです。前期に引き続きよろしくお願いたします。当会の最も大切な運動は、会員の皆様の声を行政に届けることです。地域で安心して暮らし続けられるよう、想いを声に出していきましょう。一人ひとりの声が大きな塊になり、要望へと繋がります。「私だけでは」と思わずに話していただきたいと思ひます。

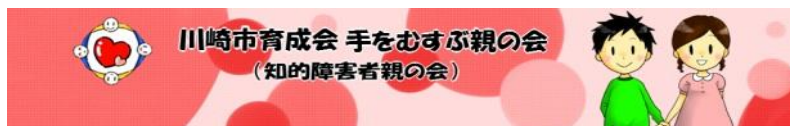
また、昨年度は新型コロナウイルス感染防止のため、会の活動がほとんどできませんでした。まだまだコロナ禍ではありますが、今年度は対策を講じながら、できる範囲で活動していきます。また、オンラインでの委員会や研修会なども開催していく予定です。皆様のご協力、よろしくお願いたします。

6月29日（火）に、川崎市の新型コロナワクチン調整室の担当課に、コロナワクチン接種について、現状を伺い要望書を提出いたしました。通所施設での集団接種については、事業所へのアンケートを実施しており、準備が整ったところから実施していくとの回答を得ました。また、集団接種会場での接種を申し込む時は、コールセンターに配慮してほしいことを伝えることで、当日対応していただけます。詳細については、ホームページ等をご覧ください。

しかし、なかなか準備が整わないのが現状のようです。各施設でできることできないことなど、情報を当会にお知らせください。担当課からは、何かありましたら連絡くださいと言っていただいています。皆様の不安が少しでも解消され、早期にワクチン接種が進むことを願っています。

ホームページ

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。



川崎市育成会手をむすぶ親の会第9回総会 令和3年度定時総会

5月31日(月)てくのかわさき2階ホールに於いて開催しました。昨年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から総会を書面表決としましたが、今回は広い外部会場にて感染防止対策を徹底し、開催に至りました。各支部から選出された代議員と役員及び運営委員からなる構成員38名のうち出席者36名(書面表決者7名、委任状4名を含む)で、総会の成立が確認されました。



議長に梅田会計が選出され、議事について審議を行いました。

《議事》

第1号議案 会則の改正(案)

- ・総会の代議員規定について

第2号議案 令和2年度事業活動報告(案)

第3号議案 令和2年度決算報告(案)・会計監査報告

第4号議案 次期役員を選出(案)

- ・会長 美和とよみ(再任)・副会長 吉野明美(再任)・会計 梅田順子(再任)
- ・書記 加藤敦子(再任)・会計補佐 三浦ひろみ(再任)・会計監査 浅川修一(再任)
- ・会計監査 安達ゆかり(新任)

第5号議案 令和3年度事業活動計画(案)

第6号議案 令和3年度予算(案)

*議案は、賛成多数で全て可決承認されました。詳細は支部代議員にお問い合わせください。

総会には、社会福祉法人ともかわさきの桑原賢治理事長と川崎市障害者社会参加・就労支援課の堺靖志課長をお招きし、ご挨拶をいただきました。桑原理事長からは、法人として短期入所施設「ライブラリー」を1人部屋に改修するとのお話がありました。利用者の安全性や快適性を第一に考えた決断に、親として大変心強く感じました。(加藤 敦子)

令和3年度要望事項(令和4年度予算要望)

1. 新型コロナウイルスのための対策について
 - ・障害者がよりスムーズにワクチンを接種できるようにするための対策
2. 生活介護事業所における送迎の整備について
3. 相談支援事業の充実
4. 災害時の支援について
 - ・災害時避難計画の作成
 - ・一次避難所における障害者への配慮と二次避難所のあり方
5. グループホームの整備
 - ・グループホームの計画的整備の推進
 - ・市営住宅の障害者グループホームとしての積極的な活用
 - ・365日必要な支援(グループホーム内での日中、夜間、休日の対応)
6. 短期入所(ショートステイ)の拡充と日中一時支援事業へのサポート
7. 人材の確保と育成について
8. 各区に地域で核となる地域生活支援の拠点施設の建設
9. 特別支援学校卒業生在宅ゼロ施策の継続並びに通所施設や就労先などになじみず在宅でひきこもりがちの人に対する支援の強化

令和3年度 川崎市育成会手をむすぶ親の会 支部代表者の紹介

支部名	氏名	住所	電話番号
川崎支部	加藤 敦子	川崎区藤崎	211-4724
幸支部	三浦 ひろみ	幸区南加瀬	599-8470
中原支部	西澤 知子	中原区市ノ坪	433-0662
高津支部	太田 理佐	高津区新作	877-2134
宮前支部	小澤 千枝	宮前区土橋	090-9233-1627
多摩支部	神田 明子	多摩区长尾	080-3213-9052
麻生支部	黒瀬 晶子	麻生区片平	986-9869
田島支援学校支部	田里 信子	川崎区池上新町	090-9303-6075

令和3年度 川崎市育成会手をむすぶ親の会 委員の紹介

	余暇活動	研修事業推進	広報	権利擁護
川崎支部	安達・山本 ○松本	加藤・齋藤	安達・小西 板垣	◎阿部・山入端
幸支部	角田	高山・小板橋	○高山	三浦(ひ)
中原支部		菅井	木村	○西澤
高津支部		太田	◎三浦(ル)	三浦(ル)
宮前支部	小澤		小澤	門間
多摩支部	◎添田	◎神田	神田	中村(多)
麻生支部	小林	○磯・小林 黒瀬		熊谷

◎は委員長、○は副委員長

令和3年度 知的障害者相談員の紹介

区分	氏名	電話番号	FAX番号
川崎	中央	伊東 早苗	222-2531
	大師	加藤 敦子	211-4724
	田島	中村 恵美子	333-9929
幸	三浦 ひろみ	599-8470	599-8470
中原	吉野 明美	433-7303	433-7303
高津	三浦 ルイ子	856-4065	856-4065
宮前	梅田 順子	975-7074	975-7074
多摩	美和 とよみ	922-3015	922-3015
麻生	黒瀬 晶子	986-9869	986-9869
自閉症	齋藤 悦子	299-2887	299-2887
自閉症	後藤 智子	844-4181	844-4181
自閉症	小泉 佳世	987-5022	987-5022

何でも相談



どうぞ、よろしくお願いいたします。

令和3年川崎市心身障害児者福祉大会

6月26日（土）13時より、川崎市総合自治会館ホールにて、川崎市心身障害児者福祉大会が開催されました。コロナ対策を講じたうえで、“障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に”をスローガンに、第1部は式典、第2部は講師に岡部耕典氏をお招きして講演会が行われました。



令和3年大会宣言

本大会スローガンである“障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に”を実現するため、ここに集う方々と共に考え、より一層行動することを誓い、次の事項を決議します。

1. 地域の中で、安心・安全に暮らせるまちづくりをめざします。

令和3年から始まる第5次ノーマライゼーションプランは、「障害がある人もない人もお互いを尊重しながら共に支えあう自立と共生の地域社会の実現にむけて」と計画されています。誰もが住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続ける支援体制を求めます。

障害のある人は特にライフステージ及び多様なニーズに応じた、さまざまな支援が必要です。高齢化・重度化に向けた施策、障害特性を理解し支援できる人材の育成が、着実に早期に実現されることを望みます。

地域でのみまもり体制の充実、相談支援の充実、相談支援体制の充実を強く望みます。

2. 地域の構成員として、あたりまえに共に暮らし続けることができるよう、一層の啓発をめざします。

共に生きる社会の実現をめざして制定された「ともに生きる社会 かながわ憲章」には、偏見や差別の排除が謳われています。

また、「障害者差別解消法」も合理的配慮の不提供は差別と明記されています。「合理的配慮とは何か？」市民の方に障害特性の理解と適切な支援の啓発を進めてください。親の会も、更に啓発を進めてまいります。

津久井やまゆり園事件から5年。二度とあのような痛ましい事件が起きないよう、障害があってもなくても、ともに認め合い、助け合う共生社会の実現、人権尊重のまちづくりを目指して啓発活動を共に進めることを望みます。

令和3年6月26日

令和3年川崎市心身障害児者福祉大会実行委員会

市長祝辞

川崎市長 福田 紀彦



皆様こんにちは。ご紹介いただきました市長の福田でございます。今日は、福祉大会にお招きいただきまして、誠にありがとうございます。また、三つの親の会の皆様には、日頃から地域福祉にご助言、ご尽力いただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

去年は、コロナによる緊急事態宣言で、福祉大会は中止となり、2年ぶりの開催です。この間、誰もが大きな影響を受けて、不自由な生活をしていると思います。今のところ唯一の武器となるワクチン接種を、一刻も早く、全力を挙げて取り組んでいるところです。高齢者に関しては、今日（6月26日）辺りですと、60%を超えて接種が進んでおり、2回目の方は20%を超えていると思います。神奈川県内でも、川崎市はかなり早いスピードで進んでいると思いま

す。医師会や、医療従事者の皆さんの献身的な協力を得て、あらゆる方法を使って、とにかく早く、安全にやっていきたいと思えます。次に基礎疾患のある方、障害のある方を、優先的にと仕組みを作り、段取りを組んでいるところですので、一人でも多くの方に早く接種することによって、皆が安心して人と繋がれる環境を整えていきたいと思えます。

厳しい日々が1年半くらい続いています。決して悪いことではなかったと思えます。新たな発見もたくさんありました。今までできなかったことが、できるようになった、ということもありました。緊急事態宣言で、去年は皆が外出制限を受け、自由に動けなくなりました。家から出られない、学校に行けない、普通に買い物ができない、そのような不自由さを、皆が知るきっかけになりました。それぞれの見方、立場は違いますが、障害、社会にバリアがあるということが、いかに不便かを、その一端とはいえ皆が知ることができたことは、次に繋がる大きなきっかけになったのではと思えます。悪いこと、つらいこと、たくさんありますが、その局面をどうやったら良い方向に変えていくことができるのか、暗くなるばかりだと思っても、小さな可能性を、大きく広げるための行動変容や、考え方を変えていかなければならないと思えます。

今年、4月に川崎区で、昔「福祉センター」であった所が、「複合福祉センター」に生まれ変わりました。川崎市が進めている地域リハビリテーション構想で、医療、介護、福祉、予防、生活支援、住まいなどを、疾病や障害の種別、年齢にかかわらず支援を受けられる仕組みを作って、その拠点となるものを、川崎市と関係者の皆さんと、これから各地区でそういった取り組みが、自然にできていくよう作っていかねばいけないと思えます。そのためには、当事者の皆さん、親の皆さん、関係者の皆さんの意見をうまく捉えながら、昨日より今日、今日より明日と、少しずつ改善して、前に進めていきたいと思えます。

少し長くなりましたが、もう一つお話したいことがあります。昨日、聴覚に障害のある方から、市長への手紙をいただいたのですが、ワクチン接種で、電話での予約が非常に難しいので区役所に行ったら、そこでは「そういったフォローはやっていません」と、断られた、という内容でした。私は、それを見て非常にショックでした。これは、仕組みや合理的配慮というよりも、それ以前の当たり前の思いやりの問題だと思えました。何か仕組みを作れば、それを受け止めるということではなくて、困っている方がいれば、当然何らかの形でご支援する。そういう当たり前の行為が普段からできるようになることが、本当の私たちが目指すべき共生社会なのではないか、と思えます。まだまだ、私ども職員、私も含め、高みを目指して一つになれるようにやっていかねばいけない。意識を変えていかなければならないことがたくさんあると自覚しながら改善に向けて頑張ることをお誓いしてご挨拶とさせていただきます。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

福祉大会第二部 講演会

演題 「親亡き後の支援を見据えて」 ～障害を持つ人たちの自立生活について～

講師 岡部 耕典 氏（早稲田大学文学学術院教授）

今大会は、映画「道草」の主人公の父である、岡部耕典氏をお招きしての講演会を開催しました。重度の知的障害のある人が家族から離れ、地域で暮らすことに向けた取り組みなどについて話していただきました。途中、息子さんのアパートでの介護者との生活の様子を映画「I am Ryosuke!」（20分間の作品）を鑑賞し、家族から離れて地域で暮らすにはどのような形ができるのかということについても話していただきました。



映画ではパーソナルアシスタンスという本人主体の介護ということを目指し実現されている印象を受けました。

岡部氏は、「施設はスケジュールがありそれに沿っている。グループホームもスケジュールがあるとところが多く、それでは施設とかわらない。常に訓練をしているような状況ではいけない。休日や、作業所から帰宅してからは自由に過ごす、そういった日々でいいはずだ。介護者は待機と見守りだけ、当事者は自分たちのアシスタントとしてヘルパーを利用し、のびのびと暮らす、こういう支援が望ましい。」と話されました。

そのためには、子どもにはどんな生活が向いているのか、自分だったらどんな生活がしてみたいか、自身に置き換えてみる。私たちもいずれは人の手を借りて生活するようになる。その人生をやり遂げるにはどうすればいいのか、ということを考えて準備から実現までを教えていただきました。

自分の子どもの特性やライフスタイルに当てはめてみると、やはり他の方と一緒に暮らすグループホームは難しいと常々思っていましたので、岡部氏の、子どもをのびのびと暮らさせたい、主体性を尊重したうえで人生をやり遂げさせたい。というお話は私自身これからの目標としていければいいなと思いました。（神田 明子）

『手をつなぐ』を購読しませんか

全国手をつなぐ育成会連合会発行の機関紙『手をつなぐ』は、身近な課題から障害福祉施策まで、暮らしに役立つ最新情報満載です。年間購読料、3,900円です。

関心のある方は、ぜひ、各支部役員までご連絡ください。



知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
 - 就労に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

病気やケガで入院したとき
入院給付金

病気で死亡したとき
疾病葬儀費用保険金

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償 ※プランによって補償します

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術 / 各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険金

就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき
職業従事者事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要です。詳細は下記までお問い合わせください。

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

https://www.aig.co.jp/sonpo
東京第二プロチャネル営業部
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階
TEL: 03-6894-9110
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
神奈川県社会福祉会館内
TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426
http://yurisapo.jp/index_qhm.php

2020年12月現在の内容です。(D-004960 2022-03)

2021年7月1日現在ご加入者は9,700余名です。毎月1日付で加入できます。2021年度もご加入よろしくお願いいたします。

海水訓練に参加して

余暇活動委員 安達 ゆかり

7月14日（水）千葉県勝浦海水浴場にて、海水訓練を行いました。曇り空だったせいか、海は人が少なかったため、参加者とボランティアの皆さんは、ゆったり間隔をとり、楽しそうに泳いでいました。1時間ほど泳いだ後は、ホテル三日月の温泉で、身体を温めました。



今回、参加のボランティアの方々には、浮き輪の準備や、着替え、見守りなど、子どもたちのため、動いていただきました。参加された



た何人かの方から、「安心して参加できた」「よく子どもを見てくれてうれしかった」との感想をいただきました。海水訓練に参加した皆さんが、会のコロナウイルス感染対策に協力して、笑顔で過ごしてくださり、余暇活動委員として、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、コロナウイルス感染予防対策を行いながら、活動したいと思います。



支部通信

第20回多摩ふれあいまつり

多摩支部 神田 明子

昨年は中止となり、今年も危ぶまれましたが、無事6月20日（日）に開催されました。多摩支部は毎年、会の紹介、パンフレット、チラシを置かせていただいています。



コロナ禍で参加団体も少なかったのですが、作業所の展示・販売はクオリティの高い作品が出品されました。マスク着用、手指消毒など感染防止にお互い注意しながら、多くの方々が会場を訪れてくださいました。親の会のパネル展示のコーナーにも立ち止まってゆっくり見てくださる方もおり、これからも多くの情報を発信し、活動を知っていただけるよう努力したいと思います。

令和3年度年末たすけあい運動

『慰問金（見舞金・支援金）』の申請について

毎年、区の社会福祉協議会では「年末たすけあい運動」で寄せられた募金を、申請のあった対象世帯に配布しています。区によって、『支援金』『慰問金』『見舞金』など、名称は違いますが、在宅で、療育手帳A、身体障害者手帳1・2級の方など（入所やグループホーム、長期入院は対象外）に、10月末ごろに申請期限を設定している区が多いようです。

例年、この配分金を各世帯に届けてくれるのは、その地区担当の民生委員児童委員です。日頃あまり関係がないと思われる方もいらっしゃると思いますが、接触の少ない民生委員の方と知的障害者のいる世帯が、「ここにいます。」とお互いに認識し合うことは、地域で生きていくための大切な機会だと思います。申請時期、配分金額、対象資格など、それぞれの区の社会福祉協議会で違いがあります。詳しいことは、早目にご自分の区社協に問い合わせてみてはいかがでしょうか。



川崎市議団との懇談会

会計 梅田 順子

令和4年度の予算要望に向けて、6月28日（月）「みらい」との意見交換会、7月5日（月）「公明党」との政策懇談会、7月9日（金）「共産党」との懇談会を行いました。

一番の関心事項は、コロナワクチンの施設での集団接種についてでした。当会でも施設での集団接種については市



公明党

への要望でもお願いしていましたが、実現には至っていません。すでに方針を決めている施設もあり、今回は施設での集団接種は一部でしか行われず、個人で接種を受けなければならない人も多いため、今後のこともふまえて市内の施設での周知を徹底してほしいとお願いしました。

また、もともと授産施設であった通所施設では、生活介護でも送迎車がない所があります。本人が高齢化などにより自力での通所が困難になり、親が送迎しているという事例が複数あります。生活介護ですから必要な人は送迎車を利用できるようにしてほしいとお願いしました。



みらい



共産党

私たちの広場「川崎スポーツの会」

令和3年6月13日（日）実施



2年ぶりの“スポーツ大会”を実施しました。感染予防の為に手指消毒液を用意し、マスクやフェイスシールドを付けたり、大声で歓声をあげないなどの注意を払っての開催です。今回は“優友会”の方は参加されず、バドミントンのコーチも呼ばず、時間を短くし、大会後も皆での会食もせず、例年になくコンパクトな開催となりました。皆さんの年齢が上がってきている上に、運動する機会が減っ

ているので始まって20分経つ頃には自主的に休憩…。2種目はボッチャを行いました。4チームに分かれて2年前に勉強会で習ったルールを思い出しながらかついでに競い合い1位・2位を決め、こちらも3位決定戦の要望なし…。最後は“ボールを投げたい人の練習時間”となりました。無理ができない年齢の方が蒸し暑い日に体育館で運動となると、“スポーツ大会”の時期も再考する必要があるのかな。と感じた一日になりました。（事務局）



すったもんだの毎日

コロナ禍が1年半におよび、我が家は飲食店のため経営は大変に厳しい状況です。コロナに感染せずとも影響を受けていない人などいないのかもしれないね。

幸にして息子は、感染することなく毎日作業所に通っています。今、息子が一番困っているのは、休業要請で毎日家にいる父に、テレビ番組の主導権をとられてしまったこと…。言葉で上手く伝えられない分、最近では私に視線と表情で言いつけることを覚えました。



私はといえば、料理やお菓子作りに精を出し、最近ではお友達にたくさん頂いた夏みかんで、ママレードやオレンジットを作ってみました。

もうしばらく、こんな状況が続くかもしれませんが、できることを探しながらめげずにいきましょう。（小西 真弓）

川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告

《令和3年4月21日～令和3年7月20日まで》

<各種会議、行事>

5月 7日 (金)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
13日 (木)	第1回研修事業推進委員会	地域福祉施設「ちどり」
14日 (金)	第2回権利擁護委員会・キャラバン隊打ち合わせ	オンライン
18日 (火)	第2回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
26日 (水)	第1回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
31日 (月)	第9回定時総会	てくのかわさき てくのホール
6月 4日 (金)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
16日 (水)	第3回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
29日 (火)	「新型コロナウイルスワクチン接種についての緊急要望書」提出	ソリッドスクエア
7月 1日 (木)	第2回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
2日 (金)	第3回権利擁護委員会・キャラバン隊打ち合わせ	地域福祉施設「ちどり」
7日 (水)	三役会議	オンライン
8日 (木)	第2回研修事業推進委員会	地域福祉施設「ちどり」
13日 (火)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
14日 (水)	海水訓練	千葉県勝浦
20日 (火)	第4回運営委員会	オンライン

<対外行事>

5月 20日 (木)	川崎市あんしんセンター業務監督審査会	書面審査
24日 (月)	川崎市中央療育センター事故の検証にかかる有識者会議	ソリッドスクエア
25日 (火)	川崎市社会福祉協議会障害者団体部会	川崎市総合福祉センター
6月 1日 (火)	川崎市身体障害者協会評議員選定実行委員会	南部身体障害者福祉会館
3日 (木)	関東甲信越ブロック代表者会議	オンライン
14日 (月)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター総会	オンライン
15日 (火)	神奈川県障害者団体連絡協議会	オンライン
15日 (火)	やまゆり障害者生活サポート協会理事会	オンライン
17日 (木)	障害支援区分認定調査会	ソリッドスクエア
21日 (月)	バリアフリーまちづくり連絡調整会議	川崎市役所第3庁舎
24日 (木)	育桜福祉会評議員会	(社福)育桜福祉会事務所
25日 (金)	川崎市事業団評議員会	川崎市総合自治会館
26日 (土)	川崎市心身障害児者福祉大会	川崎市総合自治会館
28日 (月)	川崎市議会議員団みらいとの意見交換会	川崎市役所第2庁舎
29日 (火)	川崎市社会福祉協議会評議員会	川崎市総合自治会館
30日 (水)	全育連2021年度定時総会	オンライン
30日 (水)	川崎市中央療育センター事故の検証にかかる有識者会議	ソリッドスクエア
7月 4日 (日)	令和3年度川崎市身体障害者福祉大会	カルッツかわさき
5日 (月)	川崎市議会議員団公明党との政策懇談会	川崎市役所第2庁舎
8日 (木)	川崎市あんしんセンター業務監督審査会	川崎市総合福祉センター
9日 (金)	川崎市議会議員団日本共産党の懇談会	川崎市役所第2庁舎
11日 (日)	第55回手をつなぐ育成会関東甲信越大会 群馬大会	オンライン
15日 (木)	障害支援区分認定審査会	ソリッドスクエア

寄付金(敬称略・順不同)

石井 幸	中原区小杉御殿町	3,000円	小林 文夫	高津区梶ヶ谷	5,000円
相川 隆俊	川崎区小田	5,000円	笹原 チエ	中原区下小田中	7,600円
中村 恵美子	川崎区浅田	5,000円	梅田 俊彦	宮前区初山	5,000円

※1,000円以上の方を記載しています。



各委員会委員長



三役



各支部支部長



第9回定時総会

役員・支部長・委員長は、力を合わせて、会を運営しています。



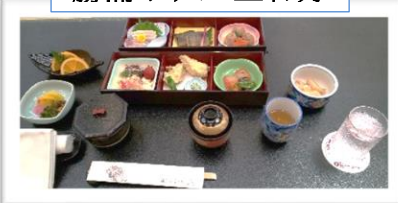
勝浦海水浴場



楽しかった！海水訓練！



勝浦ホテル三日月



編集後記

今年、「第9回定時総会」、「川崎市心身障害児者福祉大会」を新型コロナウイルス感染拡大防止策のため、定員を設けながら開催することが出来ました。当会も、コロナ感染対策を講じながら少しずつ活動して参ります。活動の報告なども、Facebook・応援ナビ・ホームページに掲載しています。ご覧ください。

(広報委員長 三浦 ルイ子)

【もくじ】

- P. 1 美和会長あいさつ
- P. 2 第9回総会報告/令和3年度要望事項(令和4年度予算要望)
- P. 3 支部代表者紹介/委員会委員紹介/相談員紹介
- P. 4 福祉大会報告/大会宣言
- P. 5 福祉大会市長祝辞
- P. 6 福祉大会第2部講演会/手をつなぐ購読のお知らせ/やまゆり広告
- P. 7 海水訓練/支部通信多摩ふれあいまつり/年末慰問金申請について
- P. 8 川崎市議団との懇談会/私たちの広場/すったもんだの毎日
- P. 9 活動報告/寄付・賛助会費
- P. 10 役員紹介・海水訓練写真/編集後記/もくじ/発行責任者

発行責任者 川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長 美和 とよみ
 〒213-0011 川崎市高津区久本 3-6-22 地域福祉施設「ちどり」
 TEL : 044-812-2966 FAX : 044-813-1216 <http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki>